



☆ 春は花の季節！

今年は桜の開花が早く、子どもたちの春休み中に満開！入学式には少し散り始めてはいましたが、初々しい新入生の姿が桜のピンクに彩られて「春だなあ…」としみじみ感じさせられました。

さて今回は、色とりどりの花の季節にふさわしい、明るく美しい絵本をご紹介しますと思います。紙面の都合で5冊しか載せられませんが、他にもたくさんすてきな絵本がありますので、図書館や本屋さんで探してみてくださいね！



色とりどりの明るい春！



絵本・たろうのひっこし

村山桂子作 堀内誠一絵 福音館書店

自分のお部屋がほしいとおかあさんに頼んだたろう。もらった古いじゅうたんをしたら、そこがたろうのお部屋です。階段の下、窓のそば…ネコや犬やアヒルたちと一緒に、次々とひっこしをするたろう。最後にひっこしたみんなで遊べるお部屋には、春がいっぱいなのでした！

絵本・わたしのワンピース

西巻茅子文・絵 こぐま社

お花畑の中でミシンをかけているうさぎの表紙が、とても印象的な絵本です。白い布で作ったワンピースを着て散歩に出かけると、不思議不思議！花畑に行くと花模様に、雨がふつくと水玉模様に、ワンピースが変わっていきます。子どもの描いたよううさぎの絵が親しみやすく、また、空想豊かで美しい絵本です。

絵本・そらいろのたね

中川李枝子文 大村百合子絵 福音館書店

ゆうじは、宝物の飛行機を、きつねのそらいろのたねと取りかえっこしました。種をまいて水をやると、生えてきたのは小さなおうち！そらいろの家はどんどん大きくなり、たくさんの動物や子どもたちや鳥たちが中に入りました。ところが、それを見たきつねが独り占めしようとして…さてさて、どうなったでしょう？



絵本・いっすんぼうし

石井桃子文 秋野不矩(ふく)絵 福音館書店

♪お椀の船に箸の櫂～都に上って鬼退治。おなじみ、一寸法師の絵本です。有名な昔話だけに、たくさんの絵本が出ていますが、中でもこの本はおすすめの一冊です。大和絵風の美しい絵が、絵巻物のように物語をつづっていきます。春の雰囲気が盛りだくさんで、ぜひ見ていただきたい本です。



科学絵本・イチゴはともだち

一みつける・たべる・そだてる一

下田智美文・絵 松岡達英構成 偕成社

ある朝のこと、女の子はネズミたちに誘われてキイチゴ摘みに。みんなでたくさん集めたけれど、お店で売っているイチゴとどこか違うよ。そこで、全国の仲間にも声をかけて調べてみると…びっくりするほどいろんな種類のイチゴがありますよ！みなさんも家の周りを探してみてはいかがですか。また、同じ作者のシリーズで『草花とともだち一みつける・たべる・あそぶ』も春の野原に行きたくなる本です。

★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

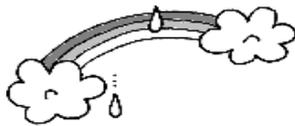
5月15日(土)、 6月19日(土)
午後3:00～3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや



☆ 雨の日も楽しく！

淡い紫陽花の色が、雨に美しく映える季節です。雨の日は家でのおんびりお茶を飲みながら読書…なんてできればいいのですが、現実には乾かない洗濯物を家の中に干したり、雨の中買い物に出かけたりと大変ですよね。

さて今回は、雨の日にも楽しくなるような絵本の数々をご紹介します！



虹の向こうは？



絵本・くんちゃんにとじ

ドロシー・マリノ作 間崎ルリ子訳 ペンギン社

「虹のねもとは、金のつぼがうまっているんだよ」小鳥から聞いたくんちゃんは走り出しました。虹の根元に近づくとそこにはりすや、うさぎや、シマリスがいて「それはただのおとぎ話だよ」と言います。でもくんちゃんは、みんなを笑顔にしてくれる素敵な“金”を見つけたのでした！



字のない絵本・かさ

太田大八作・絵 文研ジョイフルえほん

雨の中女の子は赤いかさをさし、大きな黒いかさを持っておとうさんをお迎えにいきます。モノクロで描かれた街並みの中、女の子のかさだけが赤く、とても印象的です。

また、文字のない絵本だからこそ、読み手があれこれと空想をふくらませることができます。

絵本・へそもち

渡辺茂男作 赤羽末吉絵 福音館書店

「雷におへそをとられちゃうよ！」そう聞いたこと、ありませんか？ 雷はなぜおへそが大好きなのでしょう？ 実は、雷はおへそを食べないと雨を降らすことができないのだそうです。（ええっ!？）

さて、おへそを取られて、力が抜けて困った村人と動物を助けるために和尚さんが考えた、おへそを取られない方法とは・・・？

絵本・かもさんおとおい

ロバート・マックロスキー文・絵

渡辺茂男訳 福音館書店

かものマラードさん夫婦が、ボストンの町で巣を作る場所をさがしています。そして川の中の小さな島を見つけ、そこで8羽のひなをかえました。じょうずに泳いだり歩いたりできるようになった時、マラードおくさんは子がたちを連れて歩き出しました。さあ、ボストンの町を行進です！心優しいおまわりさんが交通整理をしてくれて、公園の池に無事到着です。

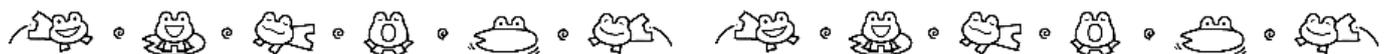


読み物・ふたりはともだち

アーノルド・ローベル作 三木卓訳 文化出版局

がまくんとかえるくんは仲良しの友だちです。夏のある日、かえるくんが病気になりました。かえるくんはがまくんに、おはなしをしてもらうよう頼みました。けれども、がまくんはちっとも思いつきません。家の前をうろうろしたり、頭に水をかけたり、頭を壁にぶついたり……。とうとうがまくんの方が具合が悪くなってしまいました！（『おはなし』より）

他に『すいえい』『おてがみ』など、ふたりのゆかいなお話が五つのっています。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

7月17日（土）、 8月21日（土）
午後3：00～3：30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや



みみずく通信

発行：すばなしの会みみずく
http://www.h4.dion.ne.jp/~mimizuku/

☆ 夏です。暑さに負けないで！！

みなさん、こんにちは。子どもたちはもう夏休みが目の前です。でも今年は、水戸市内の公立小・中学校で、5日間程度の登校日が予定されています。「夏休みに学校かあ…」という、子どもたちのため息が、聞こえてきそうな気がします。

さて、なんとなくゆったり過ごせなくなった現代の子どもたちに、長年読み継がれてきた絵本をご紹介します。親子で物語絵本を楽しんだり、科学絵本で不思議を探求したりしてみたいはいかがですか？

No. 11

2004.7.17



ゆったり楽しもう、夏の絵本！！



絵本・こぐまちゃんの みずあそび

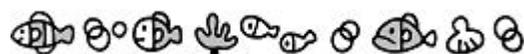
若山憲作 こだま社

花に水をあげるのは、こぐまちゃんの仕事です。でも、じょうろには水がいっぱい。そこで、金魚やアリにも水をあげていると、しろくまちゃんがホースを持ってきて…。明るい色彩とシンプルな絵で、子どもの日常を生き生きと描いた絵本です。子どもたちに、たっぷり遊んだ後と同じ満足感を与えてくれます。

絵本・うみべのハリー

ジーン・ジオン作 マーガレット・フロイ・グレアム絵 渡辺茂男訳 福音館書店

犬のハリーは、海辺のことは好きだけど、かんかん照りのお日さまは大嫌いです。ある日、家族の人たちと海に遊びに行きましたが、海辺は人がいっぱい…何かが起こる予感がします！とうとうハリーは迷子になり、おまけに海草のおぼけになってしまったから、さあ大変！周りにはみんな大騒ぎです。家族をさがすハリーはみんなに会えるのでしょうか？



絵本・海へのあさ

マックロスキー文・絵 石井桃子訳 岩波書店

サリーが朝目を覚ますと、歯が1本ぐらぐらしています。おかあさんに、それは大きくなったしるしで、願い事もかなうと言われ、大喜び。でも、知らないうちに歯は抜けてなくなっていました！歯が抜けたことをきっかけに、ちょっぴり大きくなった女の子と、それを見守る父母や大人たちのまなざしが、とてもあたたかい絵本です。

絵本・すいかのたね

さとうわきこ作・絵 福音館書店

ばばあちゃんが埋めたすいかの種は、こねこ、こいぬ、うさぎ、きつねから、次々に「つまらん黒い種」と言われ、怒った、怒った！そして、ばあちゃんとも大げんかになり、プスンとはじけてぐんぐん伸びていって……！あたり一面をジャングルのようにしてしまうすいかが、とても痛快で楽しい絵本です。

絵本・くんちゃんの はたけしごと

ドロシー・マリノ作 間崎ルリ子訳 ペンギン社

天気の良い朝、おかあさんは家の中のお仕事、おとうさんは畑のお仕事で大忙し。そこで、くんちゃんはおとうさんの畑仕事のお手伝い…のはずでしたが、とんちんかんな失敗ばかり！「何か違うぞ？」と気がついたくんちゃんは、おとうさんの仕事をじっと見て、最後はちゃんとお手伝いができましたよ！



絵本・海のおぼけオーリー

エッツ文・絵 石井桃子訳 岩波書店

海辺で生まれたアザラシが、人間につかまり、遠い町の水族館に売られました。オーリーと名付けられましたが、おかあさんや海が恋しくて元気がありません。処分されそうになった時、心優しい飼育係が湖に逃がしてくれますが、オーリーはおぼけに間違われ大騒ぎに！さて、オーリーの運命は？白黒でコマ割りの絵は、独特の雰囲気、物語を盛り上げます。

絵本・ターちゃんとペリカン

ドン・フリーマン作 西園寺祥子訳 ほるぷ出版

キャンプにやってきたターちゃんは、新しい長靴をはいてつりにでかけました。ところが、はだしになってつりをしているうちに、潮が満ちてきて、長靴を片方なくしてしまいます。がっかりして砂山を上っていくと、そこには顔なじみのペリカンが立っていました。何か秘密があるみたいに！落ち着いた色彩と語り口が、素直に自然と向き合う男の子の姿に、ぴったり調和した一冊です。

科学絵本・みず

長谷川撰子文 英伸三写真 福音館書店

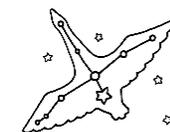
勢いよく足にかかる水、雨の水、飲む水、子どもたちが浮いたり潜ったりする水。いろんなところに水！しぶきや波や滝やつららになる水。姿を変える水！水の不思議を、子どもたちの表情とともに生き生きととらえた写真絵本です。まるで一緒に水遊びをしているような気持ちにさせてくれます。では、さっそく水にさわってみましょうか！

科学絵本・かっぱ印

川あそびブック

阿部夏丸文・絵 フロンズ新社

メダカ・ザリガニ・ウナギやナマズ…川にいる様々な生き物のつかまえ方や飼い方が、わかりやすく書いてあります。また、ザリガニの唐揚げやエビせんべいの作り方までのってます。題の“かっぱ印”は「川で遊んでかっぱになろう！」から。みんな、かっぱになれるかな？



科学絵本・なつのほし

かこさとし・ほしのほん2

かこさとし著 偕成社

夏の夜、空を見上げてまず目に入るのは天の川。それに沿ってさそり座、こと座、わし座、白鳥座。この本では、天の川に始まって、星座や銀河系の仕組みまで、わかりやすく説明しています。本で星の見つけ方がわかったら、夜空をながめてみては？他にシリーズで、はる・あき・ふゆのほしの本も出ています。

★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は **8月21日(土)、9月18日(土)**
時間 **午後3:00~3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**





☆ 秋の恵みを待ちわびています…

今年はまだ何度も大型の台風が来て、災害に遭われた方々も、大勢いらっしやいます。本当に自然というのは、楽も苦も共にもたらずものなのですね。厳しい気候のせいかクマもえさが不足し、あちこちに出てきて問題になっています。今回紹介する「サリーのこけももつみ」での、人間とクマの出会いは平和ですが、実際はそうはいかないようで、寂しいですね。1日も早く豊かな自然が戻って、クマが本来の居場所を見つけられるようになればいいと思います。



山も野原も秋！



絵本・ジェフィのパーティ

ジーン・ジオン作 渡辺茂男訳
マーガレット・ブロイ・グレアム絵 新風舎

ジェフィは、仮装パーティを開くことにしました。招待されたジェフィの友達は、様々な衣装でジェフィの家にやってきました。ゲームが始まると、予想外のことがばかり。いったい誰が誰なのでしょう…。いつもと違う自分になるってステキだと思いませんか？あなたも仮装パーティを開きたくなるかも！

絵本・もりのなか

マリー・ホール・エッツ文・絵 間崎ルリ子訳
福音館書店

ぼくは、紙の帽子をかぶり、新しいラップを持って森へ散歩に出かけます。すると、ライオン、ゾウ、クマなどがついてきて行列に！ 森の空き地で遊んだ後、ぼくが鬼になってかくれんぼをするうちに、動物たちはいなくなり…。黒一色の絵があたたかさを伝える一冊です。

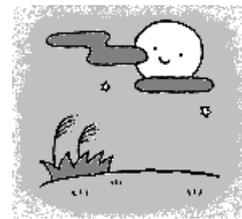
絵本・ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ作 おのでらゆりこ訳 福音館書店
ペレは大きくなり、洋服は小さくなりました。そこでペレは、畑仕事や子守などをして働きます。そのたびに、ペレの子羊の毛は糸になり、布になり…とうとう洋服になりました。新しい服を着たペレの満足げな笑顔は、なんとも愛らしく、逞しくなったようにさえ感じられます。

絵本・サリーのこけももつみ

ロバート・マックロスキー文・絵
石井桃子訳 岩波書店

ある日サリーは、おかあさんと山へこけももを摘みに行きます。おかあさんはせっせと集めますが、サリーは摘んでは口の中へ。一方、山の反対側からは、熊の親子がこけももを食べにやってきました…。大判の画面に紺一色で描かれた絵は、大自然を見事に表現。人間や動物の動きもユーモラスで、楽しい絵本です。



絵本・まんげつによるまで

まちなさい

マーガレット・ワイズ・ブラウン作 松岡享子訳
ガス・ウィリアムズ絵 ペンギン社

あらいぐまのぼうやは夜を見たくてたまりません。でも、お母さんは「満月の夜まで待ちなさい」と言います。“待つ”というのは、なんと長い時間でしょう。その間に気持ちはどんどん高まっていきます。愛らしい二色の絵、そして最後の夏の満月の夜が、とてもきれいな絵本です。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

11月20日(土)、 12月18日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや



みみずく通信

発行：すばなしの会みみずく
http://www.h4.dion.ne.jp/~mimizuku/

☆大人にもサンタさんが来てほしい！

もうすぐクリスマスですね。子どもたちもサンタさんに頼むプレゼントをあれこれ考えていることでしょう。子どもに「大人には来ないよ」って言われそうですが、やっぱり誰かからプレゼントもらえたらうれしいですよね。毎年ちょっと期待してサンタさんを待っている“みみずくおばさん”です。

さて今回は、クリスマスの絵本と来年の干支の「トリ」の絵本を中心にご紹介します。ぜひ家族で楽しんでください！



No. 13

2004.12.18



メリークリスマス & ハッピーニューイヤー



絵本・クリスマスのまえのぼん

クレメント・クラーク・ムア詩 ターシャ・チューダー絵
中村妙子訳 偕成社

クリスマスの前の晩、父さんの見たものは…サンタクロースのイメージを作り上げた19世紀の詩に、美しい絵がつけました。楽しそうなサンタの顔、細部まで描き込まれたおもちゃやおいしそうなおちそうが、クリスマスを待ち望む気持ちを盛り上げてくれます。

絵本・ぎんいろのクリスマスツリー

パット・ハッチンス作 渡辺茂男訳 偕成社

りすがクリスマスツリーを作り、いろいろな飾りをつけました。でも、なかなか気に入りません。ちょうどその時、木の一番先の枝の真上に、美しいぎんいろの星が出ました。ツリーはとてすばらしくきれいになりました。ところが、その銀色の星がなくなってしまったのです！

いったい誰が星を持っていったのでしょうか？



読み物・サンタクロースって いるんでしょうか？

ニューヨーク・サン新聞社説 フランシス・P・チャーチ著
中村妙子訳 東逸子絵 偕成社

「サンタクロースっているんでしょうか？」今から100年以上前、8歳の女の子が新聞社に聞いてみました。

さあ、「サンタクロースはいる」と答えたのでしょうか？それとも「いない」と答えたのでしょうか？

クリスマスになると、毎年読みたくなる本です。大人の方におすすりめです！

絵本・アンジェリーナのクリスマス

キャサリン・ホラバート文 ヘルム・クレイグ絵
岡田好恵訳 講談社

ひとりでさびしそうにしているおじいさんに、アンジェリーナたちがプレゼントを持っていきました。するとおじいさんは喜んで、昔郵便配達をしていたころの話をしてくれました。それは、みんなをわくわくさせてくれる話でした。外は寒くても、心がほっと温まるような、クリスマスにふさわしい絵本です。

絵本・おおきいツリー ちいさいツリー

ロバート・バリー作 光吉夏弥訳 大日本図書

大きなクリスマス・ツリーは、行く先々でほんのちよっぴり邪魔な先っぽを切られます。けれど、切られたツリーはみんなに大歓迎。それぞれにぴったりの大きさで輝きます☆

切り落とされたツリーの先が、たくさん人間や動物の家族を幸せにする温かく楽しいお話です♪



絵本・スズの兵隊

アンデルセン作 マーシャ・ブラウン絵
光吉夏弥訳 岩波書店

男の子がもらった人形は、錫（スズ）でできた25人の兵隊でした。ところが、スズが足りなくて、ひとつだけ片足の兵隊がありました。男の子はこの兵隊に見向きもしませんでした。やがて、この心優しい一本足の兵隊は、バレリーナの人形に恋をします。ところが……。

アンデルセンの名作を絵本でどうぞ。

絵本・かさじぞう

瀬田貞二再話 赤羽末吉画 福音館書店

正月のもちを買うために、おじいさんは笠を五つ編んで町に売りに行きました。ところが、おおみそかのにぎわいの中、おじいさんの笠は売れません。雪の降る帰り道、雪をかぶった六体のおじぞうさまを気の毒に思い、売り物の笠だけでなく自分の笠までかぶせて帰ります。すると正月の明け方に……。



絵本・おしゃべりな たまごやき

寺村輝夫作 長新太画 福音館書店

ある日、庭を散歩していた王さまは、鶏小屋にニワトリがぎゅうづめになっているのを見つけます。王さまが戸を開けてやると、ニワトリは「こけっこ、けっけ」と外へ逃げだし大騒ぎに…。ゆかいなお話に色鮮やかな絵、ちよっぴりおちゃめな王さまが素敵な絵本です。

絵本・ロージーのおさんぽ

パット・ハッチンス作 渡辺茂男訳 偕成社

ニワトリのロージーが散歩にでかけると、キツネがあとをつけてきました。キツネはロージーを捕まえようとしますが、ロージーの方はそんなことにはお構いなし。ゆうゆうと散歩を楽しみます。のんきなロージーと、必死なキツネが対称的でゆかいな絵本。お子様と一緒に、ぜひ「絵」をお楽しみください。

絵本・がちょうの ペチューニア

ロジャー・ディボアザン作
松岡享子訳 富山房

「本を持ち、これに親しむものはかしくなる」と人間が話しているのを聞いたがちょうのペチューニア。散歩の途中で本を拾います。さあこれで自分も賢くなったと大得意！ところが、本当は字の読めないペチューニアのおかげで、動物たちはさんざんなめに……。

★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は 1月15日(土) 2月19日(土)
時間 午後3:00~3:30
場所 水戸市立西部図書館 お話し会のへや





☆ 寒い冬も、もう少しで春です！

2月はまだまだ北風が寒く、ここ水戸でも雪の降る日があります。でも、少しずつ春を思わせる日も見受けられるようになってきましたね。早咲きの梅の花がほころんできましたし、水仙の葉もだいぶ伸びて大きくなりました。

今年は杉花粉の量が非常に多く、花粉症の人にとっては春はつらい季節ですが、それでも花の便りは待ち遠しいですね！



絵本・てぶくろ

ウクライナ民話 内田莉莎子訳

エウゲーニー・M・ラチョフ絵 福音館書店

おじいさんが、雪深い森の中で手袋を片方落とします。それをみつけたねずみが住みつき、かえる、うさぎ、きつね……と次々動物が増えていきます。それにつれて手袋もどんどん家らしくなっていく、最後におじいさんが気づいて戻ってくると…！

ウクライナ民話に、ラチョフが民族衣装を着た動物たちの絵をつけた楽しい絵本です。

絵本・くまのビーティーくん

ドン・フリーマン作・絵 松岡享子訳 偕成社

セイヤーくんと仲良しのおもちゃのくま、ビーディーくん。ある日セイヤーくんが留守の時「くまはほら穴に住む」ことを知りました。そこでいろいろな物を持ってほら穴へ！でも、何か足りません。

白黒の版画の絵が愛らしく、最後のページを開くとき、きっと幸せな気持ちになれますよ。

絵本・いっしょにうたって

たのしい うたの絵本

ましませつこ絵 こぐま社

「ゆきやこんこ、あられやこんこ…」「さいたさいた、チューリップの花が…」おなじみの歌29曲が、楽譜付きで絵本になっています。親子で一緒に歌うと、とっても楽しいですよ！最後のページの歌は「春よ来い」です。

絵本・いちごぼたけの

ちいさなおばあさん

わたりむつこ作 中谷千代子絵 福音館書店

いちご畑の土の中に住んでいる小さなおばあさんは、いちごの実がなると、赤く染めるのが仕事。春まだ遠いある冬の日、土の上に出てみると、いちご畑はもう青々と葉が茂り、今にも実がなりそう。さあ、おばあさんは大忙し！やっとう実を赤くしたのはいいけれど、次の日雪が降り…。さて、いちごはどうなったでしょう？

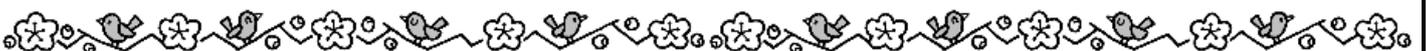


絵本・はなをくんくん

ルース・クラウス文 マーク・サイモント絵

きじまはじめ訳 福音館書店

雪の降るある日、のねずみも、くまも、かたつむりも眠っています。寒い冬の間中こうして眠って春を待つのです。ところが、急にみんな目をさまし、はなをくんくん！そしてみんなかけだします。動物たちが立ち止まり、困んだ真中には何があったと思いますか？ぜひ絵本を開いてみてください。心もあたたかくなると思いますよ！



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

3月19日(土)、 4月16日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや